

かもいろ

夏号

Vol.18

特集

今夜一杯どうですか…？ 外飲みのススメ



TAKE FREE(無料)



小京都 みいつけた

加茂松坂

加茂を中心に歌い踊り継がれている民謡「加茂松坂」。昭和39年に加茂松坂協会の唄と踊りが郷土民謡全国大会で金賞、最優秀賞に選ばれ、文化大臣賞を受賞した記念に昭和43年「加茂松坂之碑」が加茂山公園内リス園の隣に建てられました。

加茂松坂の碑にきざまれている「加茂で咲く花 矢立でひらく 矢立松原花どころ」の書は当時、長岡在住だった日本の高名な作家である松岡譲先生が書かれたものです。

「加茂松坂」の誕生は諸説あり、その中で安政三年(一八五六)三月、加茂町に近い天神林村の日野田丈左衛門の「世話雑談集」という史料に「加茂松坂」の題名で記載されている歌詞の一部である「加茂で咲く花 矢立で開く」とかく矢立は「花どこだ」は、加茂松坂の原形の一つと言われています。

※参考／広報かも「加茂の風土記」(H19・8発行)